



2020年5月15日

各位

会社名 MRKホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩本 眞二
 (コード番号：9980 東証二部)
 問合せ先 取締役執行役員経営企画部長
 中 研悟
 (TEL. 06-7655-5000)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,100	513	396	208	2.05
今回修正予想 (B)	18,919	758	748	△795	△7.84
増減額 (B-A)	△2,181	245	352	△1,003	—
増減率 (%)	△10.3	47.8	88.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	18,540	381	272	△1,427	△14.09

2. 修正の理由

売上高は新たな商品・サービスが着実に起ち上がり収益に寄与するなど、前期実績を上回る見込みとなったものの、2019年10月1日以降の消費税増税に伴う個人消費の低迷に加え、2月以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による社会不安がひろがる中、各自治体からの外出自粛の呼びかけ等の影響により来店客数が減少するなど、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面では収益構造の改革が着実に進むと共に、徹底したコスト管理により販売費及び一般管理費の対売上高比率が改善した結果、上記の通り営業利益（前回発表予想比 47.8%増、前年同期比 99.0%増）及び経常利益（前回発表予想比 88.9%増、前年同期比 175.0%増）共に大幅増益となる見込みとなりました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益においては、以下「3. 特別損失について」のとおり投資有価証券評価損ならびに店舗の内装工事費用等の減損処理による特別損失を計上する見込みとなったことにより、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

3. 特別損失について

当社が保有する RIZAP(株)の株式につきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大による同社の業績への影響により財務状況が悪化したことを踏まえ、保守的に同社株式の評価を見直しました結果、同社株式の評価損 8 億 72 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

また、当社連結子会社においては、消費税増税及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により店舗収益が悪化したことを踏まえ、一部店舗の内装工事費用など固定資産の減損処理に伴い、1 億 81 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

4. 配当予想について

現時点で、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

※ 本資料に記載の業績予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上